

官民連携事業の推進のための地方ブロックプラットフォーム
「サウンディング」
案件登録様式

■ 記入票

項目	記入欄
1. サウンディング情報	
①団体名	京都府 文化財保護課
②事業名	丹後「ハブ・ミュージアム」(仮称) リニューアル事業
③本事業の現在の検討 ステージ	1.事業発案 2.事業化検討 3.事業者選定 4.その他()
④サウンディングの目的	<p>○丹後の歴史・文化の探訪と観光の拠点として、特別展示室、コミュニティラウンジ&ホール、カフェ、ラーニングプログラムのための多目的室、ミュージアムショップ等を有する博物館を様々な方に利用いただき、交流と創造をはぐくむ「ハブ・ミュージアム」としての機能が十分に発揮されるような施設運営を行いたい。</p> <p>○当館では、特に交流と創造をはぐくむという機能の運営ノウハウが不足しており、意欲と創意工夫あふれる多くの事業者と対話し、実現可能性の高い運営内容の把握や、事業者がより参加しやすい公募条件を把握したいと考え、サウンディングを実施する。</p> <p>○事業者選定時に示す運営内容の例や、包括して委託する運営業務の範囲は、サウンディングを踏まえ決定する予定である。</p>
⑤民間事業者に対する 質問事項	<p>○地域の様々な人々と文化をつなぎ、交流と創造がはぐくまれる事業として、当館で継続的に実施できると考えられる運営内容を提案いただきたい。また、その運営内容の実施にあたり公費負担なしで自主事業として実施できるもの、公費なしでは実施できないものを提案していただきたい。</p> <p>(当館は府立の公共施設であるため、提案に当たっては、天橋立周辺地域だけでなく、丹後地域全体の意欲ある個人や個人事業主の誰もが分け隔てなく施設を利活用したくなる運営を意識していただきたい。)</p> <p>○上記の内容も含めて運営委託する場合に、来館者対応、広報、ワークショップ企画運営・誘致、多目的ホール等でのイベント企画運営・誘致、カフェ運営など、一つの事業者に業務をなるべく包括して委託することが効果的かつ効率的な運営につながる可能性があると考えられるが、適切な業務の包括範囲や委託期間について提案いただきたい。</p>

⑥現状及び課題	本館、史跡丹後国分寺跡、府指定有形文化財旧永島家住宅を有し、風情あふれる空間ではあるが、築50年以上経過した本館や、地域に根差した郷土資料館としての印象が強いため、文化観光の拠点や「ハブ・ミュージアム」としての役割が十分果たせていない。
⑦前提条件	地域の方、京阪神や首都圏など全国各地の方双方に来訪いただき、相互の交流と創造がはぐくまれる施設としたい。 施設工事は直営で実施 新しい博物館の定義について議論された国際博物館会議京都大会2019 組織委員長 佐々木丞平氏が当館名誉館長に就任
⑧事業スケジュール (予定)	令和6年度にホールやカフェなどを含む新館新築と本館リノベーション工事着工、令和8年度末オープン(それぞれ予定)
(2) 対象地	
①所在地(交通情報含む)	京都府宮津市宇国分小字天王山611-1 (天橋立駅から道の駅舟屋の里伊根方面行きバス23分)
②敷地面積	13,736㎡
③土地利用上の制約	第1種住居地域(建蔽率60%、容積率200%) 国指定史跡(史跡丹後国分寺跡)、土砂災害特別警戒区域(一部)
④所有者	京都府
⑤周辺施設等	股のぞきで有名な天橋立笠松公園や西国三十三ヶ所28番霊場の成相寺に向かうケーブル乗場から2kmに立地
⑥対象地周辺の環境	日本三景かつ特別名勝である天橋立の西方に位置し、天橋立の展望景観ゾーンにある落ち着いた環境
⑦その他	今年度、観光庁補助事業で「天橋立・伊根オーバーツーリズム未然防止対策事業」が実施されており、当館付近や丹後地域全体に広く観光客が周遊することが求められている。

■ 添付資料

- 京都府報道発表資料 <https://www.kyoto-be.ne.jp/tango-m/cms/?p=1650>
- 添付1 リニューアル運営イメージ
- 添付2 リニューアル概要
- 添付3 立地、来館者数